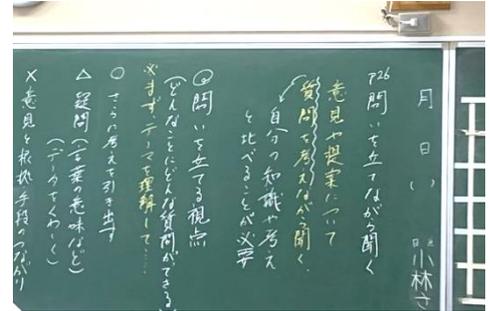


## 問いを立てながら聞く

8日の2時間目、3階を歩いていると「問い立てながら聞く」と聞きなれない言葉が響いてきました。2Aの国語の授業です。「問いを立てる」調べてみると、物事や現実起きていること、疑問に思っていることを自分の視点でとらえていくこと、あるいは、質問を考えること、課題を設定することとあります。主体的に学習に取り組むことを求める学習におおいに必要な技術です。小生が教室の中に入ると、「意見や提案に対して、質問を考える」方法について学び終え、実践に移るところでした。生徒が設定したテーマ「宿題は必要か」について、仁田先生が仁田先生とは別人格 X を演じ、1分で意見を述べ、生徒の反論を受けることになりました。



- ・ 宿題の必要はない。
- ・ 放課後の時間は個性を磨く時間。
- ・ 学習とは誰かに与えられるものではなく、自ら求めることで効果がある。



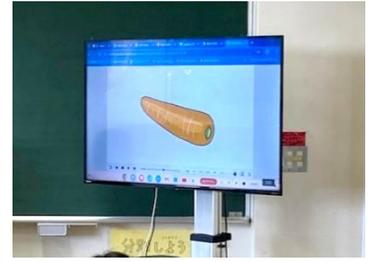
近くの人と意見交換をしながら、Xさんに対する反論を磨き上げました。

生徒「将来の自分を磨くために今勉強する。宿題は必要。」

X「将来の時間と宿題の時間が結びついているという根拠がない」

生徒「・・・」

『若いうちの苦勞は買ってでもせよ』という諺があるように、今、勉強をしておかねば、将来に自分の個性を發揮できないというなかなかの意見でしたが、Xさんを倒すにはさらに意見を磨く必要がありそうでした。



1年生の英語では、フラッシュカードを用いて瞬時に英語で発声する。「carrot」「cucumber」脳の切り替えと発音を磨いていました。

1組は美術室を飛び出して、中庭で「フロッターージュ」に身を投じていました。表面がでこぼこした物の上に紙を置き、鉛筆などでこすると、表面のでこぼこが模様となって、紙に写し取られる。このような技法や、その技法により制作された作品のことだそうです。壁や柱、階段などに紙を乗せ、色鉛筆でこすっています。止水弁のふたをフロッターージュした作品に惹かれました。どのような芸術作品に仕上がっていくのでしょうか。



先日、運転免許を取得したばかりの我が娘が、我が家の車庫で後部ドアを壁にこすり傷を付けました。中高と野球をやっていた小生は、打席でボールを打ち上げると、監督から「なにこすってんだ!! ミートしろ!!」と叱責されることが多々。磨くとこするは同じような作業なのに、『磨く』にはその先に素敵なものとの出会いがありそうで、『こする』には、マイナスイメージがつきまといます。「床を磨いてぴかぴかに」と言いますが「床をこすってぴかぴかに」とは言いません。その『こする』が芸術作品へと変化していくのでしょうか・・・。

問いを立てながら完成を待ちます。